資料11

令和二年度三島医療・病床懇話会結果の概要

**１ 地域医療構想の推進に関する意見**

●特になし

**２ 病院の将来プランに対する意見・質問等**

1. **公立・公的病院**

　　　●高槻赤十字病院から今後の方向性の説明があり、委員からの反対意見はなかった。

1. **その他、民間病院等に対する意見・質問等**

　　　●社会医療法人祐生会茨木みどりケ丘病院から今後の方向性の説明があり、委員からの反対

意見はなかった。

**３ 保健医療協議会においてプラン等の内容について説明を希望する病院**

　　　●特になし

**４ 非稼働病床の現状について**

　　　●特になし

**５ 地域医療支援病院について**

　　　●社会医療法人祐生会みどりケ丘病院から申請について説明あり、委員からの反対意見はなかった。

**６ 地域医療への協力に関する意向書の提出状況**

　　　●特になし

**７ 第7次医療計画における取組状況の評価について**

　　　●特になし

**８ 地域医療介護総合確保基金事業について**

　　　●特になし

**９ 新型コロナウイルス感染症を踏まえた今後の医療提供体制について**

　　　●コロナ感染症は医療機関にとってリスクが高い分野である。その対応として、公立病院が入院も含めたコロナ診療を行い、民間病院は発熱外来や接触者外来を実施し、その他の病院は、一般病院を診るといった役割分担が必要ではないか。

　　　●公立病院がない中で、感染症病床への資金援助の他、今後、病院の新築・改築時に分離できる感染症病棟を作っておくことも必要ではないか。

●感染症病床を持つことに関して公立・私立病院は、現状でも赤字を抱えている中、財政的援

助がなければ難しいと考える。